

第65期 株主通信

平成24年1月1日 ▶ 平成24年12月31日

トップインタビュー

日本米の新たな発展の軌跡を描く取り組みを強化

木徳神糧株式会社

JASDAQ

証券コード：2700



日本米の新たな発展の軌跡を描く 取り組みを強化

平成25年3月
代表取締役社長

平山 惇



Q 2012年12月期の業績の総括をお聞かせください。
連結売上高は前年同期比微増ながら、利益率が低下する結果となりました。

2012年12月期は、東日本大震災の影響を引き継いだ形でのスタートとなりました。

主力の米穀事業では、平成23年産米の需給が引き締まっていたこと、また、平成24年産米は集荷団体が生産者への仮渡金を大幅に引き上げたこと、猛暑による一部銘柄の品質が低下したことなどから、相場は1年を通じて前年同期を大幅に上回る高値で推移する結果となりました。

国産精米の販売が堅調に推移し、販売単価が上昇したことから、米穀事業の売上高は前年同期比8.8%増となりましたが、仕入価格の高騰に対し、販売価格の値上げが追いつかず、端境期にはお取引様への安定供給のために高値での原料調達を余儀なくされたことなどにより、残念ながら減益となりました。2年連続で米価が大幅に上昇したことに対する消費者および実需者の抵抗感は依然強く、米の消費意欲の減退にもつなが

るなど、非常に危機感を強める1年になりました。

また、食品事業において、安いブラジル産鶏肉の輸入在庫過多を背景に国産鶏肉相場が長期にわたり低迷し、これまで安定的に利益貢献してきた雛鳥の飼育および鶏肉の加工・販売を手がける内外食品株式会社の採算が著しく悪化したことも大きな減益要因となりました。この件については、人的支援を含め全面的なサポートを実施し、業績回復への目処が立ってきました。

一方で、食品事業の中でも、低たんぱく米などの機能性加工食品や米粉などの販売は好調に推移しました。また、飼料事業では販売規模が拡大するなど、厳しい環境下であって、付加価値商品の拡大、臨機応変な対応ができて利益創出につながり、明るい材料が出てきたことは、大きな成果になったと認識しています。

Q 今後の成長戦略についてお聞かせください。

広域卸としての機能を全うし、企業規模を拡大するとともに、海外展開、付加価値商品の提供にも一層注力していきます。

大きく分けて3つの方向性で成長を遂げていきたいと考えています。

1つ目は、米穀の広域卸としての機能強化です。広域卸とは、日本各地に精米工場を保有し、全国に商品を供給している卸のことで、全国展開しているお取引先様に対し、同一品質の商品を一括供給できるところが大きな強みです。全国規模での取り扱いになるので、当然、取扱量も大きくなり、コスト面でのバイイングパワーも発揮できます。

一人あたりの米消費量の低下に加え、全国展開する量販店、外食産業が増え、地域によっては、昔ながらの米卸の存在意義が失われつつあります。国内流通市場を支える責任の一翼を担う当社としては、米の流通を途切れさせることのないよう、こうした地域事業を受け継ぎながら、事業規模を拡大していく必要性も高まってきていると認識しています。すでに、飼料業界では先行して同様の傾向が強まっており、そうした地方への販売が増していることから、飼料事業は売上高を年々拡大しています。

そうした規模拡大を志向する一方、国内市

場には限りがあることをしっかりと認識し、さらなる成長を目指すためにも、2つ目に中国を主力マーケットとした海外事業をより強力に進めていきたいと考えています。日本と中国では、基本的に精米・炊飯の仕方が異なっており、中国展開を進める日系小売業・外食産業より、日本式の精米品質を求める声が高まっていました。木徳(大連)貿易有限公司では、こうした期待に応えるため、中国・東北三省で生産されたジャポニカ米の精米を2012年10月より提供を開始しました。これにより、日系企業の店舗数拡大に大きく貢献できると考えています。

また、中国では急激な経済成長に伴い、米消費量が大幅に伸びており、実質はコメの輸入大国になってきています。すでに、タイやベトナム産の長粒種米の大量輸入が始まっており、今後は日本の美味しいお米を求めるニーズも高まってくると見込まれます。そうしたニーズに対応する体制作りも進めています。現在、シンガポールやマレーシア向けにベトナム産、アメリカ産のコメを輸出していますが、非常に喜ばれており、将来的には、コストダウンされた国産

米が日本の花形輸出商品になる可能性が大だと考えています。

3つ目の成長戦略は、低たんぱく米を中心とした付加価値商品の拡大です。目下、コストダウン、長期保存という2つの方向性で低たんぱく米の付加価値をさらに高める取り組みを進めています。需要が拡大している国内市場は

もとより、中国・台湾に向けた展開も視野に入れ、台湾の輸出加工区の活用などを含め、着々と準備を進めています。

また、本来の災害対策用の食糧として、温めることなく美味しく食べられる、単なる保存食の枠を超えた、米加工商品の開発にも力を入れていきます。

株主の皆様へのメッセージをお願いします。 日本米の新たな発展の軌跡を描く取り組みを強化していきます。

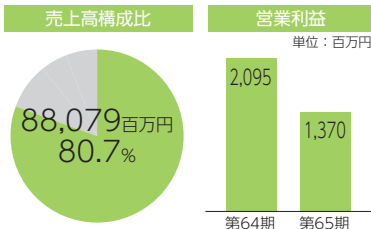
創業130年を経て、さらなる企業成長を目指すには、単なる米卸からの脱却を目指さねばならないという思いを強くしています。すでに、マーケットはグローバルな視野で見なければならぬ時代に突入しています。日本が誇る美味しいお米の力をもっと活用し、販売先を国内に限定するのではなく、海外市場にも拡大していくことが、結果として、日本の農業

の発展にもつながっていくと考えており、考え方を共にする人たちと協調し、現在の体制の変化を後押しして、いろいろな考え方やアイデアを発信していくことが、新しい日本の農業の形を作りあげていくことだと考えています。

株主の皆様におかれましては、当社の挑戦にご期待いただくとともに、よりいっそうのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

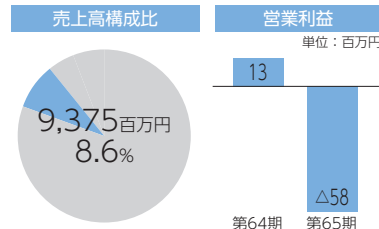
セグメント別営業概況

米穀事業



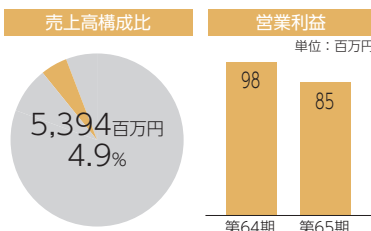
国産精米の販売が堅調に進捗したこと、加えて国産米の販売単価が上昇したことから、売上高は88,079百万円となりました。一方、仕入価格が高騰しても販売価格に充分反映させることはできませんでした。平成24年産米は一部地域のコメは品質が悪く、生産歩留まりも悪く、経費等の増加要因も含めて利益率はダウンし、営業利益は1,370百万円となりました。

食品事業



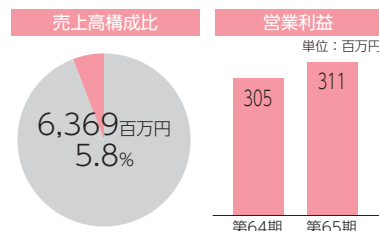
低たんぱく米等の機能性米加工食品や米粉等の販売好調に支えられて、売上高は9,375百万円となりました。しかしながら、鶏肉の安価な輸入品の在庫過多を背景にした、長期に亘る国産鶏肉相場の低迷が食品子会社の採算を著しく悪化させた結果、営業損失は58百万円となりました。

鶏卵事業



年末には持ち直したものの、需給緩和を背景に鶏卵相場が終始低迷しているなか、価格競争の厳しい一般卵の販売強化に注力せざるを得なかったため、販売数量の伸びに反して利益率が低下しました。この結果、売上高は5,394百万円、営業利益は85百万円となりました。

飼料事業



配合飼料相場が4月から上昇に転じているなか、販売規模の拡大を図りながら、糟糠類や牧草を中心に販売数量を前年より2割強増やしました。この結果、売上高は6,369百万円と大きく伸びましたが、競争激化で利幅の圧縮を余儀なくされたため、営業利益は311百万円となりました。



付加価値食品に対するニーズをとりこみ 販売量拡大を目指す

常務執行役員
コメ加工食品事業統括

石田 俊幸

Q コメ加工食品部が展開している 事業内容について教えてください。

植物性乳酸菌発酵熟成による低たんぱく米を中心に、付加価値の高いたんぱく質調整食品の開発・加工・販売を展開しています。「すべての人に健康的でおいしい食事を楽しんで貰いたい」というコンセプトのもと、様々な食のシーンを楽しんでいただけるよう、お米そのものだけでなく、米菓・和菓子、米粉パンミックス、お餅、味噌など、バリエーション豊富に取り揃えています。

米卸問屋ならではの着眼点から、食味の良さ、加工しやすさを体現する商品を品揃えしており、こうした点が強みとなっていると考えています。

Q 現在、特に注力されている 商品開発のポイントはどのあたりでしょうか。

災害時などの非常食の備えとして、安心してご利用いただけるよう、日持ちのする商品の開発を進めています。現在の商品は、冷蔵する必要があります。新商品は、常温で1年以上の保存を可能とする商品にしたいと考えています。

また、保存期間が伸びることで、国内だけでなく、海外での展開も視野に入ってきます。既存のたんぱく質調整食品も、すでに台湾向け輸出を開始していますが、保存期間の短さから展開が限られている状態です。寄せられる期待の高さは十二分に感じており、長期保存商品の開発によって、販売量を拡大することが可能になると見込んでいます。また、中国市場からの引き合いもあり、付加価値食品についても、海外展開を加速させていきたいと考えています。

ここが知^{りたい}木徳神糧

付加価値食品の事業展開

木

徳神糧ならではのバリエーション豊かな品揃え



炊飯器で炊き上げる米粒タイプ、パックアップタイプ、おにぎり、おかゆなどバリエーション豊かに品揃え。さらに、味噌や米粉パンミックス、ピザクラフトから、お餅、せんべい、串団子、柏餅といった冷凍和菓子まで、食べる楽しさを演出する商品の開発を進めています。



展

示会への参加などを通じ、必要とされる方への情報発信を強化しています

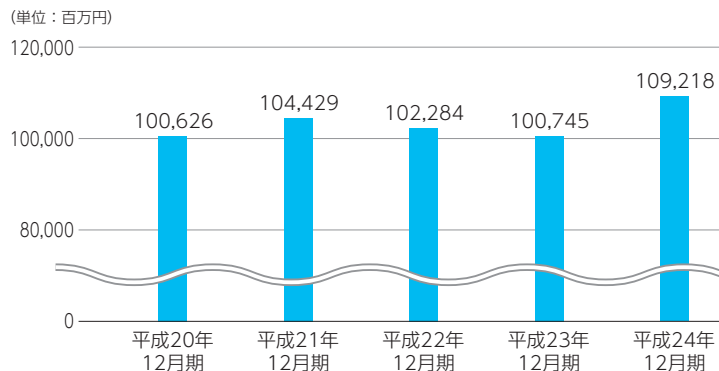
近年、低たんぱく米を必要とされる方が増えてきています。しかしながら、ある意味、患者さんのQOL (quality of life) に直結する、豊かな食生活に寄与する食品の存在は、まだまだ浸透しているとはいえません。そこで、当社では、「日本腎臓学会」「日本糖尿病学会」などといった展示会や勉強会への参加を通じ、必要とされている方に、必要とされている情報を提供する機会を拡大し、情報発信を強化しています。2012年は、およそ30件の展示会・勉強会に参加しました。

低たんぱく米をサンプルでお送りした病院の方からは「たんぱく質を減らすのが難しく食事作りに悩んでいたが、木徳神糧の低たんぱく米は味も良く、主食でたんぱく質を減らせるので副食のメニューも増えた」といったお声もいただいています。



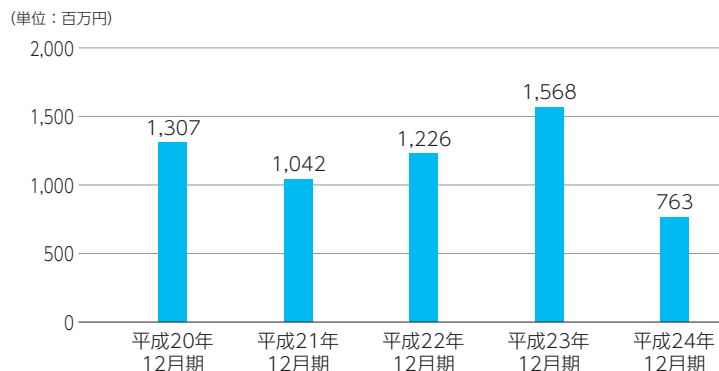
売上高

米穀事業における玄米等の販売は苦戦しましたが、精米販売が順調に伸びたことや米穀事業の販売単価が上昇したこと、加えて飼料事業の販売が引き続き順調であったことから、109,218百万円(前年同期比8.4%増)となりました。



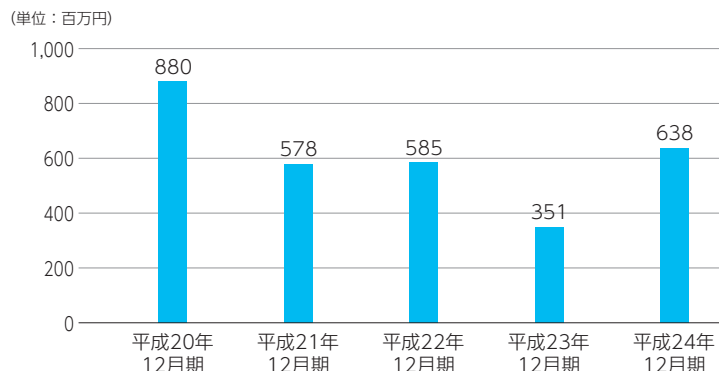
営業利益

仕入価格の高騰に対し、販売価格の値上げ交渉が難航し米穀事業の利益率が大きく低下したこと、販売エリアの拡大に伴う生産体制や物流網の整備等に係る先行投資が重なったこと、鶏肉相場の長期低迷で食品事業の採算が著しく悪化したことから、763百万円(前年同期比51.3%減)となりました。



当期純利益

子会社との合併による法人税等の軽減効果もあったことから、638百万円(前年同期比81.6%増)となりました。



■ 財政状態

流動資産

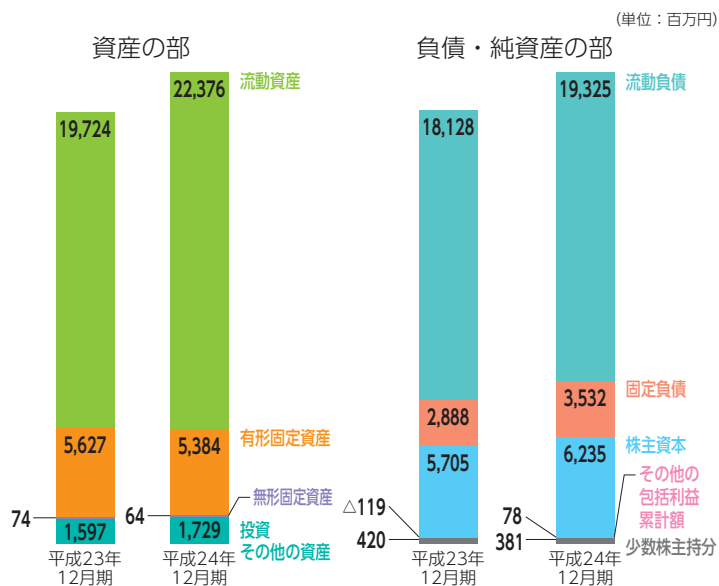
現金及び預金の減少額486百万円、受取手形及び売掛金の増加額301百万円、たな卸資産の増加額1,453百万円、前渡金の増加額1,508百万円等により、前期末から2,651百万円増加し22,376百万円となりました。

流動負債

支払手形及び買掛金の増加額1,019百万円等により、前期末から1,196百万円増加し19,325百万円となりました。

固定負債

長期借入金の増加額781百万円等により、前期末から643百万円増加し3,532百万円となりました。



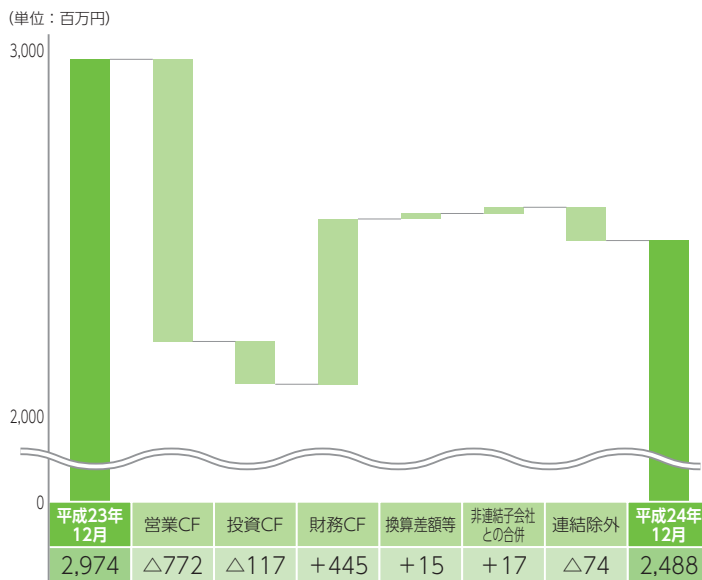
■ キャッシュ・フローの状態

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益819百万円、減価償却費415百万円に対し、売上債権の増加233百万円、たな卸資産の増加1,400百万円、法人税等の支払455百万円があったこと等により772百万円の使用(前年同期は1,461百万円の獲得)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の減少149百万円、長期借入金の返済による支出1,593百万円、社債の償還による支出272百万円、配当金の支払67百万円に対し、長期借入れによる収入2,540百万円があったこと等により445百万円の獲得(前年同期は26百万円の使用)となりました。



トピックス

「セブン-イレブンのお米」 TVCM・メイキングのご紹介

当社は株式会社セブン&アイホールディングス様にPB商品「セブン-イレブンのお米」を供給しております。現在、九州エリアでTVCMを公開中です。当社ホームページではCM映像やメイキング映像を公開しております。是非ご覧下さい。

特設サイト

<http://www.kitoku-shinryo.co.jp/cm/201302/>

木徳神糧株式会社

こだわりの
国産米をブレンドした
「セブン-イレブンのお米」

TVCM・メイキングのご紹介
---九州エリアでCM放映中!---

2kg / 5kg

※「セブン-イレブンのお米」はセブン&アイホールディングスの登録商標です

木徳神糧株式会社

米穀事業

家庭用・業務用の精米の製造販売・玄米の販売を行っています。

「セブン-イレブンのお米」TVCM&メイキング

2013/02/16 九州エリアでTVCM「国産米をブレンドしたセブン-イレブンのお米」を公開しました。

2013/02/14 「2013年度 大賞」受賞。ベスト・ブランド賞を受賞しました。

2012/06/29 賞状を授けられたエスエス製米(株)から、特選「賞状を授けられたエスエス製米」の山形県産新米をいただきました。

2012/05/11 岡山県産の「山形県産新米」の山形県産新米をいただきました。

PDFファイルを閲覧するには、Adobe Acrobat(無料)をインストールする必要があります。

リンク | サイトマップ | 個人情報保護方針 | このサイトについて

Copyright © KITOKU-SHINRYO Co., Ltd. All rights reserved.

TVCM 「セブン-イレブンのお米」TVCMを公開中です

家族が暮らす日本のあたたかい空気と、その中心にいつもお米があるしあわせを表現しました。感動的な笑顔を見せるラストカットの女の子はダブルキャストで採用し、2バージョンを制作。見る人の想像を強く誘う部分にも注目を。

こだわりの国産米をブレンドした、「セブン-イレブンのお米」

あの美味しさを、食卓でも。

TVCM 15秒 Aタイプ

TVCM 15秒 Bタイプ

TVCMメイキング Web限定! 「セブン-イレブンのお米」TVCMメイキングを公開中です

撮影は朝1000時を超える日本家庭で行われました。南国にお米を食べるシーンでは出演者の方々も「おいしい!」を連発。子供が食卓を囲む姿はまるで本物の家庭のようで、撮影中は軽妙なごやがな雰囲気にもなっていました。

メイキング

動画を再生するにはApple社のQuickTimeプレイヤーが必要です。入っていない、もしくは再生出来ない場合は右記アイコンより、QuickTimeプレイヤー (無料) をダウンロードしてください。

QuickTime7 無料ダウンロード

© 木徳神糧の公式サイトへ戻る

Page Top

Copyright © KITOKU-SHINRYO Co., Ltd. All rights reserved.



(平成24年12月31日現在)

●会社概要

商 号 木徳神糧株式会社

事業内容 米穀事業、飼料事業、海外事業、コメ加工食品事業

本店所在地 〒104-0061 東京都中央区銀座7-2-22

本社所在地 〒132-0015 東京都江戸川区西瑞江2-14-6
TEL：03-5636-1501(代表)
FAX：03-5636-1601

資本金 5億2,950万円

従業員数 355名

ホームページ <http://www.kitoku-shinryo.co.jp>

株式情報

(平成24年12月31日現在)

●株式の状況

- (1) 発行可能株式総数 30,000,000株
(2) 発行済株式の総数 8,530,000株
(3) 株主総数 1,517名
(4) 大株主

株主名	所有株式数	持株比率
木村謙三	405千株	4.77%
木村 良	348	4.10
濱田精麦株式会社	330	3.89
株式会社三菱東京UFJ銀行	300	3.53
黒田康敬	255	3.00
株式会社神明	247	2.91
木村友二郎	243	2.86
稲垣辰彌	230	2.71
水野正夫	224	2.64
木徳神糧従業員持株会	208	2.46

- (注) 1. 所有株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式(45,883株)を控除して計算し、小数点第3位を切り捨てて表示しております。

●役員(平成25年3月27日現在)

取締役・監査役

取締役会長 木村 良
代表取締役社長 平山 惇
取締役常務執行役員 三澤 正博
取締役常務執行役員 水野 正夫
取締役常務執行役員 伊豫田直記
取締役常務執行役員 天川 誠
取締役執行役員 稲垣 英樹
取締役執行役員 鎌田 慶彦
取締役執行役員 竹内 伸夫
取締役(非常勤) 小森 浩資
常勤監査役 高橋 健治
監査役(社外) 松下 守
監査役(社外) 杉野 翔子

執行役員

常務執行役員 石田 俊幸
執行役員 竹田 光男
執行役員 大橋 正博
執行役員 岩苔 永人
(注) 執行役員については、平成25年4月1日に就任となります。

株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月に開催いたします。

基準日 定時株主総会については12月31日、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日

配当金受領株主確定日 12月31日及び中間配当金の支払を行うときは6月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 株式会社大阪証券取引所

公告方法 日本経済新聞

株主優待のご案内

1,000株以上ご所有の株主の皆さまに株主優待品を贈呈いたしております。

ポイント1

12月末現在の株主の皆さま

▶3月頃送付

6月末現在の株主の皆さま

▶9月頃送付

年2回の贈呈

ポイント2

当社米穀製品をお届けします。



6月末現在の株主さま	1,000株以上2,000株未満	2,000円相当の米穀製品
	2,000株以上	4,000円相当の米穀製品等※
12月末現在の株主さま	1,000株以上	3,000円相当の米穀製品

※うち2,000円相当は「切り餅」を12月中頃までに贈呈いたします。

株主アンケートにご協力下さい

今後の活動に反映させていただくため、アンケートを実施いたします。同封のアンケートハガキにご記入の上、最寄のポストへご投函下さい。何卒ご協力をお願い申し上げます。



おいしい おコメを使ったレシピ

はまぐりのパエリア風ごはん

スペイン名物のパエリアをご自宅でもお手軽に！
ワインにピッタリの、ディナー向けのメニューです。

材料4人分

米……………3合(540cc)
はまぐり……………8個
玉ねぎ……………1/2個
ベーコン……………30g
にんにく……………1片
パプリカ(黄色) ……1/2個
グリーンアスパラ……………3本
トマト……………1個
スープ……………3カップ
白ワイン……………1/4カップ(50cc)
塩……………小さじ1
こしょう……………少々
オリーブ油……………大さじ2

●調理時間45分 ●カロリー：534kcal/1人分

- 1 玉ねぎ、にんにくはみじん切りに、ベーコンは1cm幅に切る。パプリカ(黄色)、トマトは種とへたを取り、パプリカ(黄色)は5mm幅のせん切りに、トマトは1cm角に切る。はまぐりは砂抜きして表面をよく洗っておく。
- 2 グリーンアスパラは熱湯で茹で、冷水にとり斜めに切っておく。
- 3 フライパンか厚手の鍋にオリーブ油を熱し、にんにく、ベーコン、玉ねぎを入れて炒め、玉ねぎが透き通ってきたら米を加えて炒める。
- 4 米が透き通ったらはまぐりを加えてさらに炒め、白ワインを入れてひと煮立ちさせてアルコール分をとばす。
- 5 スープを注いで塩、こしょうし、パプリカ(黄色)とトマトを並べて蓋をする。沸騰したら弱火にして20～25分炊き、仕上げにグリーンアスパラを散らす。

※パエリアなどの洋風炊き込みごはんの場合、米は洗わずに加えるので無洗米が向いています。

